

【機械要素】

真空装置の角型ゲートバルブ「トルネード」

登録番号18-7

〔技術・製品の概要と特徴〕

半導体や液晶製造装置を構成する真空チャンバ間を仕切るバルブでパーティクルが出ないのが特徴。

従来の溶接ベローズにより板状バルブを上下させる構造では、金属同士の接触により有害なパーティクルが発生した。本製品は、円錐形のバルブをエアとマグネットカップリングで回転制御することで、金属同士の接触をなくしパーティクルを根絶した。この構造によりメンテナンスや安全性の面も向上させた。



〔用途〕

半導体製造装置  
 液晶製造装置  
 真空応用装置  
 流体製造装置（特に液体・気体）

〔希望する技術移転の形態・相手先・地域〕

生産委託(8インチ、12インチ、液晶用の3種類が基本で、CD-ROMによる公開を開始しているが、一部加工および組立のOEMを希望) 企業規模は問わない(メーカーおよび商社) 国内・外いずれでもよい

〔開発段階〕

製造・販売実績(有)  
 関連特許(出願中・海外六か国へも出願済み)

〔提供可能資料など〕

技術資料、パンフレット、サンプル、特許公報